

天理市立柳本小学校

「人権の花」(ミニひまわり)が咲きました

1年生と3年生が、一緒に植えてくれた人権の花(ミニひまわり)が咲き初めました。



振り返るといっぱい大失敗をしでかしました。(みんな、ごめんね)

とにかく、失敗もとは、育て方を初めにちゃんと調べなかったこと！

ミニひまわりには、ミニひまわりの特性があるのに「だいたいみんな同じやろう」とたかをくくってしまったことにつきると思います。

ネットで調べると・・・

『株の間を適度に取り、1ヶ所に2～3粒。ある程度大きくなったら間引きで育てます。鉢植えよりもプランターの方が大きく育つ傾向にありますので、株間は広めにするのがおすすめです。』とちゃんと書いてあるではありませんか？！

私はというと、『じゃまな奴を間引くなんて人権の精神に反する』と間引きもせず。

子どもたちがせっかく1つのプランターに、10粒ずつ種を植えたのに、ちゃんと育たないのがっかりすると思ひ込み、虫に食われて、少ししか生き残れなかったプランターに、ひそかに何度も種を植えました。虫に食われる、植える、食われる、植えるのいたちごっこです。そこで私はひらめきました。

他のポットに植えて、虫からも鳥からも種を守り、しばらく育てた後、こっそり移植しよう。(ナイス、アイディア！)

すると、虫にも鳥にもやられず、元気よく芽が出て、期待通り双葉も出てきました。



「さすが私。勝った！」と思いきや、なぜか、なかなか大きくなりず・・・。(写真のとおり)

「いったいどうなってるの???'」と思って調べてみると、『ミニひまわりは移植を嫌うので、なるべく植え替えないように』とやっぱりちゃんと書いてある・・・

ただ、『水やりは鉢やプランターの様子を見て乾きすぎないように毎日たっぷり水をあげてください。特に夏の暑い時期は水不足になりがちなので気をつけて』とありましたが、これは3年生が毎日しっかり

お水をあげてくれているのでクリアしていました。

教訓：子どもと一緒に！それぞれの特性をちゃんと理解しよう。